

2017年2月キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 第26回国際図書展の開催
- (2) ハバナ市内のタクシー料金に関する発表
- (3) アルマグロOAS事務局長のキューバ渡航不許可
- (4) 閣僚評議会の開催

2 外交

- (1) トンティフォン・ベトナム国会副議長のキューバ訪問
- (2) 第16回キューバ・イラン政府間委員会の開催
- (3) アイルランド大統領のキューバ訪問
- (4) キューバの港湾当局と米ミシシッピ州港湾当局との間での協力覚書署名
- (5) 米国会議員団のキューバ訪問
- (6) アルマグロOAS事務局長のキューバ渡航不許可に関する外務省宣言
- (7) 日キューバ官民インフラ会議の開催

【本文】

1 内政

- (1) 第26回国際図書展の開催

9日から19日にかけて、ハバナにおいて、国際図書展が開催された。本年は46カ国から500人を超える有識者、作家、編集者等が参加した。また、最終日の発表によれば、その前日までで昨年比25,000人増の約415,000人が図書展を訪れた。

- (2) ハバナ市内のタクシー料金に関する発表

9日付報道によれば、ハバナ市政府がプレスリリースを発表し、ハバナ市内のタクシー料金の区間別の法定価格の遵守が呼びかけられた。これは、昨年7月にハバナ市政府が市民を（タクシー料金の高騰から）守るため、タクシー料金値上げを禁じた措置を確保するためのもの。市の中心部から5CUP～20CUPの値段が具体的に定められている。

- (3) アルマグロOAS事務局長のキューバ渡航不許可

22日、対キューバ反体制派オスワルド・パヤ氏の名を冠した人権に関する表彰を同氏の娘、ロサ・マリア・パヤ氏がアルマグロOAS事務局長に対して行うための表彰式がハバナで開催されたが、同式に出席予定だった、アルマグロOAS事務局長は、キューバ政府の渡航許可が下りず、出席出来なかった。キューバ政府は、本件に関して、非難声明を

出している。

(4) 閣僚評議会の開催

28日、ラウル・カストロが議長となり、閣僚評議会が開催され、以下のとおり政策の承認や報告があった。

ア 規格、度量衡、品質認証のシステムの向上に係る政策

イ 食品安全（食品の無害性（*inocuidad*））に関する政策

ウ キューバ社会の情報化に関する政策

エ 漁業の発展政策

オ 2017年～2018年の中等教育・高等教育課程に関する提案

カ 国有財産（不動産）の登録に関する現状の報告

2 外交

(1) トンティフォン・ベトナム国会副議長のキューバ訪問

トンティフォン・ベトナム国会副議長が当地を訪問し、エステバン・ラソ人民権力全国議会議長（15日）、マチャド・ベントゥーラ共産党第二書記（16日）及びラウル・カストロ共産党第一書記（国家評議会議長）（19日）との会談をそれぞれ行った。

(2) 第16回キューバ・イラン政府間委員会の開催

15日、標記会合がハバナで開催され、12の合意文書への署名が行われた。署名された合意文書の中には、ビザの延長、農業協力、水道関係の国営企業間の協定のほか医療・保健分野での複数の合意も含まれている。署名式には、ハーシェミ・イラン保健・医療・医科教育大臣が出席し、キューバ側は、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ロドリゲス農業大臣等が出席した。

また、同日、ラウル・カストロ国家評議会議長が、ハーシェミ大臣の表敬を受けた。

(3) アイルランド大統領のキューバ訪問

15日午後、当国を訪問しているヒギンズ・アイルランド大統領が、ラウル・カストロ国家評議会議長と会談を行った。両首脳は、両国の良好な関係を確認し、経済、経済協力面での関係強化の可能性があることを認識した。国際情勢についても話し合った。その他同大統領は、ハバナで開催されている国際ブックフェアに足を運び、ハバナ大学で講演を行った。

(4) キューバの港湾当局と米ミシシッピ州港湾当局との間での協力覚書署名

20日、ハバナにおいて、キューバ港湾当局とミシシッピ州の2港との間でそれぞれ協力覚書が署名された。キューバ港湾当局のペレス局長は、これらの覚書が、双方の港湾の

オペレーションや技術面での情報共有に役立つと確信していると述べ、今回両国の当局が会合したことは、経済制裁により止められている二国間関係を強化したい双方の関心の現れだと評した。マックアンドリュース(MacAndrews)・パスカグーラ港湾当局長は、本覚書後、これまで断続的に続いてきたキューバとの農産品、鶏肉、森林資源、建設資材等の貿易を拡大したいと述べ、また、ボックス (Boxx) ミシシッピ州対外貿易局長は、米国企業のキューバへの輸出に関心があり、交渉を行いたいと思っていると述べた。

(5) 米国議会議員団のキューバ訪問

21日、米国議会議員団が当地を訪れ、ラウル・カストロ国家評議会議長を表敬した。議員団は、団長として、リーヒ(Leahy)上院議員(民・バーモント)及びコックラン(Cochran)上院議員(共・ミシシッピ)、その他、ユードル上院議員(民・ニューメキシコ)、ベネット上院議員(民・コロラド)、マクガヴァン下院議員(民・マサチューセッツ)、モールトン(Moulton)下院議員(民・マサチューセッツ)で構成されている。

(6) アルマグロOAS事務局長のキューバ渡航不許可に関する外務省宣言

キューバ外務省は、22日付けで、アルマグロOAS事務局長のキューバ渡航不許可に関して宣言を発出した。同宣言においては、同事務局長がハバナで、反政府の急進セクターが表彰する賞を受け取ろうとしていることを批判した。

(7) 日キューバ官民インフラ会議の開催

23日、日本の強みとする「質の高いインフラ」の技術・ノウハウ等を情報発信するとともに、官民双方の関係構築を図るため、国交省が日本企業約30社を同行して「日・キューバ官民インフラ会議」をハバナにて開催した。会議では、キューバの関心の高い分野をテーマとしたワークショップ等を開催し、日本企業の優れた技術を紹介するとともに、キューバ共和国建設省及び運輸省との間で「質の高いインフラ投資」の推進及び協力関係の継続に係る覚書を締結し、両国のインフラ開発に関する協力関係を今後も継続していくことに合意した。

3 要人往来

(1) 来訪

ドラッカー・スロバキア保健大臣

カジミール・スロバキア財務大臣

Djombo コンゴ農業大臣

ハーシェミ・イラン保健大臣

ヒギンズ・アイルランド大統領

トンティフォン・ベトナム国会副議長

ラッバーニー・パキスタン上院議長

Cruz Neto アンゴラ人民会議議長

Tumkunde ウガンダ防衛大臣

(2) 往訪

ラソ・人民権力全国議会議長のハイチ訪問

バルデス・メサ国家評議会副議長のセントヴィンセント・グレナディーン訪問

ラソ・人民権力全国議会議長のメキシコ訪問